

総合的な学習でキャリア教育に取り組む

3年生の卒業まであとわずかとなりました。本年度の学校教育活動も締めくくりの時を迎えます。1、2年生は総合的な学習で、附属中の特色を生かしたキャリア学習に取り組んでいます。11月の学校だよりでは、1年「キャリアメッセージ」、2年学問探検「知の冒険」を紹介しました。今回は、2年「大学学問体験」、1年「職業調べ」の取り組みを紹介します。

2年修学旅行 「大学学問体験」

修学旅行の1日目に「大学学問体験」を計画しています。

これは大学での学問体験や専門施設の見学を通して、「卒業研究」や将来の進路を考える機会とすることをねらいとしています。11月に鳥取大学で実施した「知の冒険」を、舞台を東京大学に移し、以下の2講座に分かれて学習を深めます。今取り組んでいる「卒業研究」に繋がることを期待しています。

A講座 東京大学大学院教育学研究科
藤村宣之教授

B講座 東京大学大学院薬学系研究科
後藤由季子教授



なお、2年生は、「第1回卒業研究発表会」を3月20日（水）に行います。発表者を5名募集し、今準備を進めているところです。保護者の方の参観も可能ですので、ご都合のつかれる方はご来校ください。

現3年生「毎日新聞」訪問写真



1年「職業調べ」新聞づくり



11月に実施した、様々な職業の方に体験談・専門的講話をお聞きする「キャリアメッセージ」を受けて、職業調べ（新聞づくり）を行いました。新聞を作成するにあたっては、書籍等で調べる作業と合わせて、実際に働いている身近な方にインタビューをすることを課題としました。やりがいや苦勞することなど、実際に聞いてみないと分からない内容も含めました。そして、取り組みのまとめとして、クラス毎に相互の新聞を読みあい、学んだことを共有しました。身近な方に直接聞き取りをしたことにより、今後の生徒自身の生き方について考えるきっかけにもなりました。そして、1年のキャリア学習の締めくくりとして進路希望調査を行いました。教科学習とキャリア学習が車の両輪のように併進していくよう今後も取り組みます。

3年「財政教育プログラム」実施

財務省では、日本の財政について興味を持ち、財政を自分たちに関わる問題としてとらえ、自分たちの国の将来について考え判断できる知識を育むために、「財政教育プログラム」を実施しています。

本校では、本年度初めてこの「財政教育プログラム」を、2月15日（金）に3年生全員を対象に実施しました。日本の財政についての話をお聞きした後、グループワークを行いました。テーマは「財務大臣になって予算をつくろう！」です。「将来、どんな社会になっていて欲しいかイメージし、みんなから集めたお金をどう使えば、未来をよくできるのか」を考えて、国の予算をつくるという学習でした。活動を通して、財政を自分たちに関わる問題としてとらえるきっかけになればと思います。



大会・コンクール結果～栄光を讀える～

(文化関係)

- ・第16回鳥取県ジュニア美術展覧会

書写の部 奨励賞 筒井 雪未

入選 岩室結子 岩田紅里 赤木無風 余悟大晴 谷田祐一
松本紗可 田村諒太 藤島賢悟 横山陽香

写真の部 入選 藤島 賢悟

- ・平成30年度鳥取県小中学生科学研究表彰

優秀賞 科学部 研究テーマ「アリゾゴクの住み分け調査」

- ・第54回「わかば」作文・図画コンクール 図画の部

優良賞 1年 玉江 慧矢 2年 木村 海翔

- ・第78回全国教育美術展

特選 森岡柚衣

入選 米井みつは 廣富育 丸岡華麟 大森菜々美 櫻井美咲 中川智恵 筒井友隆

- ・塩野直道記念第6回「算数・数学の自由研究」作品コンクール

学校実践賞 鳥取大学附属中学校

Rimes 優秀賞 井口結仁 鳥取県最優秀賞 杉村優太

鳥取県優秀賞 鶴巻久遠 山本瑠菜 柳谷佳輝

- ・「あったかい風をみんなで吹かそう 缶バッジデザインコンクール」優秀賞 松浦礼奈

- ・JA 共済全国小・中学生交通安全ポスターコンクール

JA 共済連会長賞 後藤真実 県本部長金賞 近藤百桜

(体育関係)

- ・平成30年度鳥取市体育協会スポーツ賞 男子陸上競技部

- ・平成30年度公益財団法人鳥取県体育協会表彰

スポーツ賞(個人) 陸上 山口大凱

水泳 宮城歩優



学校評価委員会開催

2月28日（木）には学校関係者評価委員会を開催し、授業参観の感想や1月末に実施した保護者アンケートの結果、さらには「本年度取り組みの重点と成果・課題」もふまえて委員の方からご意見を伺いました。年度末に当たり、この一年の教育活動に対する皆様からのご支援に心より感謝申し上げますとともに、次年度も引き続いてご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。なお、ご協力頂きました保護者アンケートの結果は別紙で配布します。自由記述して頂きました内容も含めて今後の取り組みの参考とさせていただきます。ありがとうございました。